



# 119 消防だより

## ★ 9月9日は「救急の日」★

9月9日は「救急の日」と定められ、この日を含む9月7日から9月13日までの1週間は救急医療週間となっています。

これは、救急業務や救急医療に対する国民の正しい知識と認識を深めることを目的としています。

消防署では、各種団体やグループを対象とした救命講習を実施しており、年間を通して受講を受け付けています。

いざという時のために、正しい応急手当を身に付けておきましょう。

応急手当等の講習会に関する問い合わせは、消防署までご連絡ください。

## 『第53回消防救助技術四国地区指導会』

令和7年7月26日（土）に第53回消防救助技術四国地区指導会が徳島県消防学校で行われました。

上島町消防本部からは、水上の部（溺者搬送）に穂積隊員と岡田隊員が出場しました。日頃の訓練成果を十分に発揮し、5組中2位のタイム（愛媛県では1位）で入賞しました。



▲ヘアキャリーにて救助する穂積隊員 写真手前

## 令和7年7月出動件数

| 地区 | 弓削 | 生名 | 岩城 | 魚島 | その他 | 合計 | R7累計 |
|----|----|----|----|----|-----|----|------|
| 火災 | 0  | 0  | 1  | 0  | 0   | 1  | 1    |
| 救急 | 19 | 7  | 9  | 1  | 0   | 36 | 230  |

(令和7年7月31日現在)

【上島町消防署】 ☎77-4118  
【上島町消防本部消防防災課】 ☎77-3166

共に守ろう、大切な人とふるさとを  
消防団員**絶賛**募集中！

令和7年度全国統一防火標語

「急ぐ日も 足止め**火**を止め 準備よし」

## 困ったときは、#7119を活用しましょう！

全国的にも救急車の出動件数は増加傾向にあり、なかでも入院加療を必要としない軽症者の割合が高い水準で推移しています。愛媛県でも全体の5割と高い状況であり、上島町においても救急搬送の4割が軽症となっています。

救急車等の救急資源には限りがあるため、このまま出動件数が増え続けると、緊急性の高い重症者が利用できない事態が発生するかもしれません。

「**#7119**」は、救急車の適正利用や医療機関の適正化を図ることを目的としています。

また、お子さんの急な病気やけがの場合は、「**子ども医療電話相談（#8000）**」をご利用ください。

こんな時には**#7119**に相談してね

- お腹痛い人やけいいいいあるか？
- 熱が下がらんのか？
- 病院に行つたほうがいいのか？
- 家で様子を見る時どうすればいい？

愛媛県イメージアップキャラクター「あきちゃん」

★電話相談は、次の番号へ

| 電話番号                  | 通話費用(発信側)について                                 |
|-----------------------|-----------------------------------------------|
| ① <b>#7119</b>        | ●携帯電話(NTTドコモ回線・楽天回線) 通話料無料<br>●固定ブッシュ回線 通話料無料 |
| ② <b>0120-79-7119</b> | フリーダイヤル(通話料無料)                                |
| ③ <b>089-909-9935</b> | 県内通話料有料                                       |

詳細はコチラ▶ (愛媛県ウェブサイト)

※ダイヤル回線・IP電話は、この番号は使えません。上記の番号が利用できない場合(一部のIP電話等)は、この番号へ。

### 普段からの3つの心がけ

- ①日頃から『かかりつけ医』を持ちましょう。
- ②健康診断や検診等により、病気の予防や早期発見に努めましょう。
- ③家庭で薬を常備しましょう。

### 受診にあたっての2つの心がけ

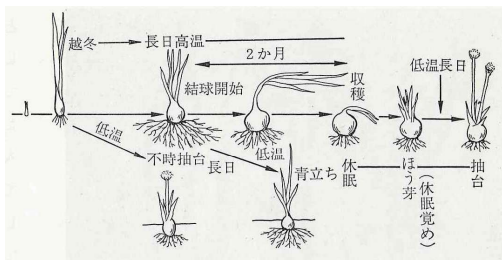
- ①なるべく医療機関の診療時間内に受診しましょう。
- ②救急車で搬送されても、軽症の場合は、通常の受付順となる場合があることに留意しましょう。



タマネギを栽培したことのある方は「とう立ち（ねぎ坊主）」した、一皮むくと「球が分球」していた、「球が小さい」などという経験があると思います。近年の暖冬や冬季の少雨などの気候変動による影響もあると思います。今回はタマネギの生理生態の観点から生育障害の対策について解説します。

### ① タマネギの生育特性と生育障害

タマネギは日長と温度に反応して生育します（図1参照）。その反応は品種により異なり、極早生品種は晩生品種に比べ気温や日長の感応が早く、玉の肥大が早まります。通常、暖地のタマネギは秋に植え付けて冬の低温を経過して春先から急激に成長して結球します。種から苗を育てる場合、苗を購入して植え付ける場合の時期の目安は表1を参照してください。



「べと病」の発生が増加傾向にあり、減収要因になることがあります。苗の時期に感染した全身罹病（りびょう）株（写真1）

②**施肥の注意** 極早生種では12月頃から2月まで、早生・晩生品種は1月頃から3月頃までの間、月に1回程度追肥を行います。肥料を遅くまでやる、施肥量が多いと首の太い締まりのない貯蔵性の悪い球になるので止め肥の時期、施肥量に注意しましょう。マルチ栽培は緩効性の肥料を使用するとよいでしょう。冬は気温が低く

①**とう立ち（ねぎ坊主）、分球** 定植時の大苗は球の肥大が良い反面、とう立ちや分球が増加するリスクが高まります。中庸な苗を適期に定植することが重要で、種の早撒きや極端な大苗の購入は避け、定植時期を早めないようにしましょう。植付け地は、石灰資材、施肥の過剰施用を避け、寒くなるまでに根張をするよう深く耕すと良いでしょう。マルチ栽培は雑草対策と土壌水分の保持により球の肥大が良くなります。

真1参照）が伝染源となり茎葉が繁茂する春に雨が多い年には大発生することがあります。病原菌は土に残るので前年に発生した畑での連作は避けましょう。発病株は球の肥大が悪くなり収穫後の腐敗が増加します。

### ② タマネギの生育障害対策

表1 暖地でのタマネギの作型

|     | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 主要品種例 |
|-----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|-------|
| 極早生 |    | ○  | △   |     |     |    |    |    | ■  |    |    | 貴錦、浜育 |
| 早生  |    | ○  |     | △   |     |    |    |    |    | ■  |    | ソニック  |
| 普通  |    | ○  |     | △   |     |    |    |    |    |    | ■  | もみじ3号 |

○種まき △定植 ■収穫

### ③ 最後に

ここ数年、夏の酷暑で秋の訪れが遅く、秋から冬は乾季のように雨が少ない天候となることが多くなりました。こうした気象の変化から今までどおりに作物を栽培しても同じようにできなかつたり病害虫被害で全滅したりということがあります。基本に立ち返り、作物の特徴や生育の変化をよく観察して異常気象に負けない野菜作りに努めてください。

③**べと病対策** 2月～3月頃に写真1のような明らかに生育の悪い葉が黄色い株（全身罹病株）があれば抜き取り園外に出します。べと病の症状は、葉身に黄白色のぼんやりした粉末を吹いた病状が見られ、発生株は葉身が折れて球の肥大も悪くなります。発病株の早期の抜き取りと3月頃からジマンダイセンやダコニールなどの殺菌剤で予防散布を行うと効果的です。



も無降雨期間が長く、土の乾燥が続く場合は灌水を行うことも必要です。